



宮城県美ネット 井戸端会議 vol.1

「市民目線で考える、これからの県美」

2019年11月に突如として移転計画が持ち上がった宮城県美術館。宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワークの活動をはじめ、「今の県美を残してほしい」という県民からの声が多数上がり、2020年11月に宮城県は県美の移転計画を撤回し、「今の県美で、増築せずに現地存続させる」という方針を決めました。

宮城県は現在、宮城県美術館について平成30年に策定した「宮城県美術館リニューアル基本方針」に基づいた基本設計を進めています。これは、当時予定されていた「現地で増築して改修する」という計画に基づいたものです。宮城県は移転計画の発表・撤回という一連の流れを経て、県美は「現地で増築せずに、改修のみとする」と計画が変更になった今、リニューアル基本方針で語られた「県美の将来像」はどのように実現されるのでしょうか。とても気になるところです。

今回の市民井戸端会議では、リニューアル基本方針を読みながら、「わたしたちが求める宮城県美術館」の将来像について、参加者の皆さんと語り合いたいと考えています。市民は県美の利用者（＝美術家、散策者、鑑賞者、学習者、等）です。市民目線で「これからの県美」について一緒に考えてみませんか？ご参加をお待ちしています。

【日 時】 2022年5月14日（土）

14時－16時30分

【会 場】 宮城県民会館 601大会議室

【参加費】 無料（要申込）

【定 員】 80名

当日は2つのテーマで井戸端会議を開催！

関心のあるテーマにて、ぜひお考えをお聞かせください！

① これからの県美、こうなったらいいな！

芸術文化に触れる場として、学校教育における美術の現場として、県美は重要な役割を担っています。表現者にとっても、県美は発表の場として大きな可能性を持っているといえます。魅力的な県美の空間を、もっと市民が親しみを持って利用できるようになるためには、何が必要でしょうか。利用者の視点からの県美の将来像について語り合しましょう。

② 考えてみよう、私たちの関わり方

私たち「宮城県美ネット」は、さまざまな活動をとおして、県美に興味・関心のある方々とたくさん出会ってきました。こうした市民の思いやパワーを、もっと県美の取り組みに活かしていくために、市民の立場でできるアクションを考えてみます。

<申込方法>

このイベントにご参加いただくには、お申込が必要です。以下のいずれかの方法で、「5月14日の件」と明記した上で「お名前」「お電話番号」をお知らせください。

- (1) メール miyagikenbi.net@gmail.com
- (2) ファックス 022-707-5303
- (3) 郵送 〒982-0801 仙台市太白区八木山本町 1-38-3 宮城県美ネット 宛て

宮城県美ネットは
リニューアル
しました！

宮城県美術館の移転計画撤回を経て現地存続が果たされた今、旧団体「宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク」としての活動を終了し、新たに「宮城県美術館の百年存続を願う市民ネットワーク（略称：宮城県美ネット）」を設置して、引き続き宮城県美術館に市民がより親しむための活動を展開する運びとなりました。当会にぜひご賛同いただき、活動を支援していただきたく、ご案内申し上げます。

- 宮城県美ネット 設立趣旨 ⇒<https://www.save-mmoa.org/572/>
- 宮城県美ネット 入会方法 ⇒<https://www.save-mmoa.org/570/>